

2004年5月25日 (Created)

2004年12月24日 (Modified)

株式会社 秀潤社

「Visual Dermatology」読者のみなさまへ

【Topic】

月刊「Visual Dermatology」では、読者のみなさまからの症例の投稿を募集しております。

| [▼募集している特集号](#) | [▼特集コンセプト](#) | [▼執筆要領](#) | [▼送付先](#) |

【募集している特集号】

現時点で以下の特集号にて症例の投稿を受け付けております。

- 1) 似たもの同士：目で見える鑑別診断【Part.2】(監修：塩原哲夫先生)
- 2) 皮膚病変の裏に潜むもの【四肢編】・【女性編】(監修：大原國章先生)
- 3) 画像が診断の決め手となった皮膚病(監修：江藤隆史先生)

これらのタイトルはすべて仮題です。

それぞれの特集のコンセプトは以下のとおりです。これらのコンセプトに則した症例を募集いたします。なお、掲載の採否につきましては小誌編集委員会にご一任いただきます。

【特集コンセプト】

●『似たもの同士：目で見える鑑別診断【Part.2】』

責任編集：塩原 哲夫 (杏林大学医学部皮膚科)

2005年1月号の続編を企画しております。思わず唖ってしまうほど似たような臨床像を呈する疾患の写真をお持ちではありませんか？なるべく発症部位も似ており、さらに写真の角度も同じようなものがベストですが、似ていると思われるもう片方の疾患の写真がない、似ているけれども角度がちよっと違うなど、編集部までリクエストをいただければ、編集委員でバックアップすることも可能です。塩原先生によるコンセプトの詳細については1月号掲載の総論を ご参照ください。(編集部)

◆原稿〆切：2005年3月4日(金) 弊社必着

◆掲載号：2006年1月号の予定

●『皮膚病変の裏に潜むもの【四肢編】・【女性編】(仮)』

責任編集：大原 國章 (虎の門病院皮膚科)

すでに2004年6月号にて本企画の第1弾【頭頸部編】を行いました。大原先生によるコンセプトの詳細については[6月号掲載の羅針盤 \(PDF\)](#)を参照ください。(編集部)

◆原稿〆切：2005年3月4日(金) 弊社必着

◆掲載号：2006年中の予定(四肢編、女性編のどちらが第2弾となるかは未定です)

●『画像が診断の決め手となった皮膚病（仮）』

責任編集：江藤 隆史（東京通信病院皮膚科）

MRI、CT、超音波など画像診断技術の進歩にはめざましいものがあります。これを皮膚科診療に役立てない手はありません。また実際に使用しておられる読者も多いことでしょう。そんななかで、「この画像が診断の決め手になった！」あるいは「診断するうえでプラスになった！」といったベストショットを含む症例を募集いたします。（江藤隆史）

◆原稿〆切：2005年3月4日（金）弊社必着

◆掲載号：2006年中の予定

【執筆要領】

・基本的には本誌既刊号の症例ページの書き方に準じます。また最新号巻末の「投稿規定」の欄を参照ください。ただし、『似たもの同士』特集は以下の形式からは外れておりますので、2005年1月号の各case論文を実際にご参照ください。

- 1) 前文として：受診までの経緯や主訴、必要があれば家族歴・既往歴についても触れてください。
- 2) 鑑別疾患：鑑別疾患を具体的にあげ、症例の臨床像や現病歴などとの異同について詳述ください。
- 3) 臨床診断：診断名と理由をお書きください。病理像・画像診断などによって診断が確定した場合は、上記2)とまとめてお書きいただいても結構です。
- 4) 治療と経過：簡潔にお書きください。
- 5) 本症例のポイント（または、振り返って考えたこと）：症例のポイント、または確定診断後に考えたことをお書きください。

・ 図と図説明について

- 1) メイン臨床像：症例の特徴がよく出ているもの。「現症」を含め、文頭に症例の年齢・性別・初診年月を入れ、臨床像についての注目点を詳述ください。
 - 2) 病理組織像のほか、特集によっては、治療後の臨床像、画像診断像、虫体の写真など、適切な写真を選択ください。病理像の説明文には、採取部位・染色法なども記載ください。
- ※投稿時にはカラースライドの現物やオリジナルの図は送付しないでください。かならず紙焼にしたもの（あるいはコピーしたもの）を2部お送りください。採用決定後にスライドあるいはオリジナルの写真をお送りいただくよう、ご連絡いたします。またデジタルデータのみ場合は、データならびにデータ打ち出し見本（2部）をかならず送付してください。

・ 原稿の分量について

- 1) 400字詰め原稿用紙で8枚分（タイトル・著者名・ご所属などは含みません）。
- 2) 図版は原稿用紙0.8～1.5枚分に相当します。原稿と図版の合計が6～8枚となるようご注意ください。
- 3) 原稿は最少でも3枚（1200字）はご執筆ください。
- 4) 原稿の打ち出しを2部送付ください。

・文献の引用、転載許可、Key wordsについて

- 1) 引用件数はなるべく5件以内としてください（多い場合は削除をお願いすることがあります）。
- 2) 記載順序は本文に登場する順です。かならず肩番号を記し、文献番号と対応させてください。
- 3) 記載方法は本誌投稿規定に準じます。また雑誌名は公式の略称を用いてください。類似誌がある場合は、誌名（発行地）のように記載してください。
- 4) 転載・引用がある場合は、原著者と原出版社の承諾が必要です。あらかじめ許諾を得ていただき、原稿中にも適切なクレジット表記を入れてください。
- 5) Key wordsは日本皮膚科学会の用語集に準じた表記で、2～3件ご記入ください。

・査読と採否の決定

編集委員会で責任をもって査読いたします。また掲載の採否、掲載される月号につきましては編集委員会にご一任いただきます。

・禁止事項

他誌（海外の雑誌、単行本も含む）にすでに掲載されたもの、掲載予定のもの、投稿中のもの、インターネット等で配信済のものの投稿はご遠慮ください。

【送付先】

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町 3-5-1

（株）秀潤社 ViD編集部「投稿論文」係（どの特集に対する投稿なのかを明記ください）

※なお、このトピックスに関してのご質問は、電子メール（vid@shujunsha.co.jp）あるいはFAX（03-5281-0550）にて受けつけます。ただし掲載の採否についてのご質問やお問い合わせ、ならびにお電話でのお問い合わせには一切お答えできませんので、あらかじめご了承ください。

秀潤社

Visual Dermatology編集部

担当：宇喜多、川口

E-mail: vid@shujunsha.co.jp

FAX: 03-5281-0550

記載された内容は予告なく変更・追加・削除することがあります。

掲載された記事を許可なく複製、転載することを禁じます。

Copyright 2004-2005 SHUJUNSHA Co., Ltd. All rights reserved.